

ウィークエンドに 親子で農業体験

阿久根市親と子の農業体験クラブ



子供の心を豊かにはぐくむためには、学校内だけでなく、学校外でも自然とのふれあいや異年齢集団での交流といった直接体験を促進していくことが求められている。

そこで今回は、親と子供たちがウィークエンド等を利用して一緒に農業体験活動をしている「阿久根市・親と子の農業体験クラブ」を、阿久根市教育委員会の川畑憲一社会教育主事に同行してもらいながら訪問取材した。

1 親と子の農業体験クラブの概要

「親と子の農業体験クラブ」は、鹿児島県が20モデル市町村に委託して推進している「ウィークエンド・サークル活動促進事業」の一つとして、阿久根市で本年度4月から実施されている。

ここでの活動は、学校週5日制の実施状況等を踏まえ、20家族（親20人、小学生20人、中学生4人）が、ウィークエンド等に阿久根農業高校の協力の下に、高校の農園等を利用して農業体験を行っている。

クラブ全員が集まって活動するのは、ほぼ月1回である。知らないことの多い農業体験ということで、1時間程度は高校の先生方の講義を受け、後の1時間は実際に農園での活動をするということが多い。

ただ、それぞれの家族ごとに区画分けされた40㎡の畑で植えた植物の毎日の水かけ、除草、施肥等の管理についてはそれぞれの家族に任されているので、参加している親子には日常の継続的取組も必要となっている。

また、栽培されている品種は各家族が自由に選択できるので、ヒマワリ、マリーゴールド、サルビア、コスモスといった草花類や、オクラ、ピーマン、ナス、ネギ、キュウリ、トマト、メロン、スイカ、パセリ、ヤマイモ、